

# 新型コロナウイルス第9波がきても 大丈夫な医療体制を！

6月議会一般質問のうち、新型コロナウイルス感染症対策についての質問のやりとりをお知らせします。

【橋爪】5月8日の5類移行以降、新型コロナウイルスの感染者は増え続けている。市内でもある学校では、生徒の1割が感染したというようなニュースも流れている。非常に重大な事態が、今後起きてくる可能性がある。それだけに、私はきちんと市の方針を確認していきたい。

まず一点目。5類に移行して、どんな課題があると整理しているか。

【中川市長】市では5類移行に伴い、市民の皆さんの不安の解消を図ることが主たる課題ととらえる中で、移行後の感染時の取り扱いの変更点や、市内の受診可能な医療機関情報のほか、1週間ごとの感染状況など、市ホーム

ページで周知するとともに、引き続き総合相談窓口を開設し、市民への相談対応を行っている。

【橋爪】2番目は医療体制の問題だ。国の方では、5類に移行することによって、これまでの限定された医療機関での診察、入院ではなく、すべての医療機関で外来も受ける、入院も可能にするという方針だが、当市の実態はどうなっているか。

【中川市長】上越地域では、1200余りの医療機関があり、県の公表資料によると、この「外来対応医療機関」については、5月31日現在、上越保健所管内では74の医療機関があり、このほかにも、公表の希望はないものの患者の受入れを可能とする医療機関は、上越地域で20か所程度あると、県から聞いている。また、入院調整についても、外来等において適切に患者を治療し、入院が必要な場合には、原則、医療機関同士で、入院調整を行うこととしていっている。一方、医療機関の間での調整が不調となった場合には、当面、県の医療調整本部において対応することとされている。上越地域においては、医療機関同士の調整は問題なく行われていると聞いている。

【橋爪】患者数が今後増えて、さらに爆発的に増えていった時に、一般診療と本間に両立できるかどうか心配だ。特に地域医療構想での計画を見る限り、明らかに病床削減の方向だと思っている。それでいいかどうか。コロナの患者さんが増えても対応できる、それだけの余力を持った計画に見直しをする必要があるのではないか。



【キカラスウリ】ウリ科のつる性多年草。漢字で「黄烏瓜」と書きます。資源ごみを出しに行き、杉の木に絡まる姿を見つけました。この植物の根も秋の段階の黄色の実も解熱剤などの薬となります。花期は7月～9月。白いひげのような花姿が特徴的です。花言葉は「誠実」「よき便り」「男嫌い」。7月5日に撮影しました。

【中川】令和4年3月24日付の厚生労働省医政局長通知で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、病床の機能分化連携等の重要性が改めて認識されたことを十分に考慮することとした上で、地域医療構想の推進の取り組みは、病床の削減や統廃合ありきではなく、各都道府県が地域の実情を踏まえ、主体的に取り組みを進める旨を示している。

また、令和5年3月31日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知では、地域医療構想の実現に向け、新興感染症発生、蔓延時における医療等の検討や、病床の機能分化連携に関する議論等が必要であることが改めて周知された。

【橋爪】3点目は介護施設の問題だ。新型コロナウイルスの深刻な状況が広がる中で、病院に入れなくて、介護施設で施設内療養を受け、残念ながらそこで亡くなっていった患者さんが、随分いらっしゃる。当市において、介護施設における療養の実態はどうなっているか。

【市長】新型コロナウイルス感染症の陽性者が、介護施設において発生した場合、国の通知に基づき、介護施設は、市に対して、感染者数やサービス提供体制の確保の状況等を報告することとされており、令和4年度では、利用者・職員あわせて630人分の報告

を受けている。しかし、介護施設における陽性者の入院調整については、県の医療調整本部が対応することとなっているため、市では実態を把握していない。

【橋爪】原則無料だった検査、外来、入院などの費用が自己負担の方向へと動き出した。費用負担によって受診抑制が起ころぬように財政支援などが必要ではないか。

【市長】新型コロナウイルス感染症の診断がなされる前に、自己負担が生じるようになったことのみを理由として、医療機関への受診を控えるといったケースは想定しがたい。医療費の自己負担に対する補助等の支援を行う考えはない。



いつも笑顔で頑張る松島青果さん夫婦。三八市での姿です。

## はしづめ法一の 活動レポート

**No.2116 2023.7.9**  
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
 URL <https://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第七六四回 幼友達（2）

やはり、子ども時代、一緒に遊んだ人のことは忘れることはないですね。

先日、市役所の議員控室で仕事をしていた時のことです。どういいうわけか、急にヒトシちゃんのことを思い出し、声を聞きたくなりました。

ヒトシちゃんは、私と同じく旧吉川町尾神の蛸場（ほたるば）に住んでいた幼友達です。学年は一級上でしたが、私にとっては最も身近な遊び友達でした。

電話を掛けると、ヒトシちゃんは「久しぶりだねー。元気でいなるかね」と言ってくれました。前回、ヒトシちゃんの声を聞いたのは二、三年前だったと思います。電話での声を聞くかぎり、以前と変わることなく、ホッとしました。

久しぶりに話をしたので、話したいことは山ほどあります。まずはそれぞれの情報交換です。

「いま、なんか仕事していいの？」

「十年くらい前にやめたし、何もしてないよ。最近はお酒も飲めなくなっただし……」

「そい。おれもほとんど飲まないね。こまでくると、健康であることが一番大事になってくるね」

「俺、七五になったよ」

「そうなんだ。お父さん、現職の時、亡くなっちゃったよね」

「そう、五一だった」

「そんがに若かったんかね」  
お互い、加齢に伴う体の調子や元気度は一番気になることです。そんななか、山菜採りのことが話題となりました。蛸場は山菜が豊富で、二人とも、山菜採りは子どもの頃から大好きでした。

「今年も山菜採り、行きなつたかね」

「行った、行った。大田（おおた・地名）でウド採りしてきたよ」

「あそこって、急斜面にウドがある場所だ

よね。よくのぼつたね」

「おれはのぼらんよ、姉ちゃんがのぼつたんだわ」

「そりゃ、すごいね。もう七十七、八になつていなるよね」

「なして、八〇過ぎてるわね」

「えー、そんなに。そりゃ大したもんだ」

やはり、女性の方が体力があるのでしょいか。ヒトシちゃんのお姉さんが急斜面で鎌を手に動き回る姿が目につかびました。

言うまでもなく、蛸場で一緒に同時代を過ごした人たちのことについても話になりました。

「オオヒガシ（屋号）のしよ、どうしなつたらうね」

「もう家はないけど、娘さんたちのなかには御殿山あたりに住んでる人もいなるよ」

「そいがかね」

「サクラサワ（屋号）の一番下の人は大島区に嫁にいつてなる。ヒトシちゃんと同級生の人は、カチャが家にいなるときはよく来ていなるだけ、いまはどうだかわからないね」

私の子ども時代、蛸場には八軒ありました。その後、ムコウ（屋号、カミ（屋号））などが諸事情で次々と蛸場を離れました。わが家も蛸場を離れて、すでに四〇年以上になります。いまは、Sさんが一人で蛸場を守つていてくださいます。ヒトシちゃんとは、一軒一軒、わかる情報をお互いに出し合ひながら懐かしく振り返りました。

電話が終わつたとき、スマホには二四十分と記録されていまして。楽しかつたせいか、あまり長くは感じませんでした。

蛸場には、蛸場に関係する者みんまで楽しい会をやるうと植えた桜の木が「サカンソ」（地名）にあります。けっこう大きく育ちました。植えた人たちはすでに亡くなつていまして、生き残つていなる者でその思いを実現しなければと思つていまして。

「いよいよ歴史講座」が6月24日、吉川区総合事務所でありました。今回は長峰遺跡から出た出土品と最近発見された町田古墳のことが中心です。20人ほどの人たちが参加しました。

## 長峰遺跡のミニ土偶などで「じょうえつ歴史講座」

「いよいよ歴史講座」が6月24日、吉川区総合事務所でありました。今回は長峰遺跡から出た出土品と最近発見された町田古墳のことが中心です。20人ほどの人たちが参加しました。

長嶺遺跡の出土品の中で私が最も気に入っているのがミニ土偶です。身長がおずか3.9cm、お腹の形から見て、明らかに妊婦を表現したものです。この日の説明では、「頭から足まで表現されている土偶の中では一番小さなクラスではないか」とのことでした。おさげ髪は富山市の長山遺跡の土偶の表現に近いこと、体形は長野県茅野市の棚田遺跡の土偶の表現に近いと説明がありました。長野と富山ともつながっていることがわかりました。興味深い説明でした。

町田古墳については、頸北歴史研究会の皆さんによる前方後円墳などの発見データを使った説明でした。こちらは上越地方全体の古墳のなかでの位置、旧大湊との関



連などの説明もあり、こちらも勉強になりました。町田古墳群については今後、いろんなことが解明されていくでしょう。参加者からは現地への案内看板、道路整備の要望が出ました。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月28日(水)	7月5日(水)
上越南消防署	0.050	0.053
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.050	0.047
頸北消防署	0.050	0.040
頸南消防署	0.067	0.057
東頸消防署	0.040	0.043
名立分遺所	0.057	0.050
高士分遺所	0.053	0.053